

【様式2】

②食育月間以外の月の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	山梨県
取組市町村名 取組団体・企業名	身延町 身延町立静川保育所
取組の名称	① あけぼの大豆の収穫と袋詰め体験 ②祖父母交流会さつま芋と枝豆（あけぼの大豆）収穫 ③ 焼き芋大会 ④あけぼの大豆の収穫・大豆ご飯の試食会
実施時期	① 10月15日（火） ②10月22日（火） ② 11月13日（水） ④12月24日（火）
取組内容に該当する食育ピクトグラム	
取組内容	① あけぼの大豆の収穫と袋詰め体験（3歳以上児） ＊地域の農家さんが地元の子どもたちに特産品のあけぼの大豆の枝豆を出荷するための収穫から袋詰めの作業の体験をさせたいと招待してくれた。 ＊枝豆の袋にあけぼの大豆と書かれたシールを貼り、自分で収穫した本格的な枝を持ち帰り、子どもたちも大満足だった。  ② 祖父母交流会さつま芋と枝豆（あけぼの大豆）収穫（祖父母10名・園児16名・職員7名） ＊6月に植えたさつま芋とあけぼの大豆が収穫期を迎えたので、祖父母交流会を兼ねて祖父母と一緒に収穫を行う。 ＊職員があらかじめつるを伐採し芋のある場所が分かるよう準備をし、祖父母と子どもと一緒に芋掘りをする。 ＊その後、職員があけぼの大豆の枝を根元から切り取って配り、木陰で祖父母と枝豆をもいで収穫する。 ＊収穫したさつま芋や枝豆を見せ合い、たくさん収穫できたことを喜び合う。 ＊さつま芋は数日天日に干し、11月に焼いも大会を行った。枝豆は祖父母にお土産として持ち帰ってもらう。2度目の収穫は園児のみで行い家にも持ち帰る。園児は午後のおやつに塩ゆでして試食した。「とっても美味しい!!」と喜んでいた。 

③ 焼き芋大会 (園児 16 名・職員 7 名)

*10 月に収穫したさつま芋(シルクスweet)で焼き芋大会を行いました。

*さつま芋を子どもたちが一人ひとり新聞紙に包み水に浸してからアルミホイルで包む作業を行う。

*数日前から子どもたちと落ち葉を集めておき、あらかじめ掘っておいた穴の中に石を敷き詰め、その上にさつま芋を並べ、落ち葉や小枝・新聞紙をのせ火をつけるまでの一連の作業を皆で行い観察しました。

*焼き上がった焼き芋を皆で試食し、「甘くて美味しい!!」「もっと食べたい!!」とおかわりをするほど大好評だった。残った焼いもを持ち帰り家庭でも味わってもらい、大好評だった。シルクスweetの名前の通りとても甘い焼き芋だったので来年度もこの品種のさつま芋を栽培したい。



④ あけぼの大豆の収穫

*枝豆の収穫時に大豆にする分を植えたままにして置き、11月下旬に茶色くなったので枝ごと抜き日影に干し乾燥させ、殻が開いてきたところで殻から身を取り出し、大豆の収穫をした。皆、根気よく殻から取り出すことができ思った以上にたくさんで良い大豆が収穫できたと喜び合った。

*収穫したあけぼの大豆は少しだったが、大豆ご飯を炊き少しずつ味わい、枝豆と大豆の違いを確認し合った。

*その後、大豆を使った料理や大豆製品にはどんなものがあるか話し合ったり、絵カードやカルタなどで大豆製品を確認したり、どんな栄養があり体に良い食べものであるかを再確認する機会となった。

